

# 為替手形

## 練習問題

問1：A商店は、B商店に対する買掛金100円を払うため、かねてから売掛金のあるC商店を名宛人とする為替手形をC商店の引き受けを得て振り出した。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問2：A商店はかねてから買掛金のあるB商店から同店振出、C商店を指図人とする為替手形100円を呈示されたので、これを引き受けた。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問3：A商店は、B商店に商品100円を販売し、代金はB商店振出、C商店引受けの為替手形を受け取った

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問4：かねてから受け取っていたA商店振出、B商店引受けの為替手形100円が本日満期日をむかえ、当座預金口座に入金された。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問5：引き受けていたA商店振出の為替手形100円が満期日をむかえ、当座預金口座から決済された。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

## ポイント

①文頭と文末から誰が何の仕訳をするのかを読み取る。

②為替手形の場合、それぞれの役割を理解する。

No	名称1	名称2	名称3	役割	借方	貸方
①	振出人			支払を依頼する人	買掛金 ：負債の減少	売掛金 ：資産の減少
②	受取人	指図人		手形を受け取る人	受取手形 ：資産の増加	
③	引受人	名宛人	支払人	代わりに支払う人		支払手形 ：負債の増加

## 解答解説

### 問 1

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
買掛金		100		売掛金		100	

「A商店は・・・為替手形を振り出した」の文末から、A商店を振出人①とする仕訳をする。

為替手形を振り出すので、B商店に対する売掛金の減少とC商店に対する買掛金の減少で仕訳。

### 問 2

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
買掛金		100		支払手形		100	

「A商店は・・・引き受けた」の文末から、A商店を引受人③とする仕訳。

為替手形を引き受けると、手形代金を支払義務が発生するので、支払手形で処理。

### 問 3

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
受取手形		100		売上		100	

「A商店は・・・為替手形を受け取った」より、A商店を指図人②とする仕訳。

為替手形を受け取ったときは、約束手形と同様に受取手形で処理します。

### 問 4

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
当座預金		100		受取手形		100	

A商店が振り出して、B商店が引き受けた為替手形。

仕訳の主体は問題文に出てこないが、受取人として仕訳するのが読み取れる。

したがって、受取手形が決済されたときの仕訳。

### 問 5

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
支払手形		100		当座預金		100	

為替手形を引き受けたとき、支払手形で仕訳している。

その支払手形が決済されたので、支払手形の減少で仕訳。